

## 「日本円金利指標に関する検討委員会」第7回議事要旨

(2019年6月5日(水) 16時00分～16時45分、日本銀行本店会議室)

- 事務局より、「日本円金利指標に関する検討委員会」(以下、検討委員会)に対して、各国の金利指標を巡る最新の動向について説明が行われた。
- 国際スワップ・デリバティブズ協会より、現在実施しているデリバティブ契約におけるフォールバックのトリガー等に関する市中協議の概要について説明が行われた。
- 事務局より、市中協議文書(案)について、メンバー等から寄せられたコメントを踏まえた対応について説明が行われた。
- 議長より、検討委員会の今後の運営方針について、市中協議結果の取りまとめ公表後も、市場全体や各社の取り組みについての検討状況を中心に金利指標改革の進捗状況を点検する方針である旨の説明があった。また、リスク・フリー・レートにもとづくターム物金利(ターム物RFR金利)の構築について、今後、参考値公表等に向けた取り組みを進めていくことが報告され、メンバー・オブザーバー間で認識が共有された。

事務局より、ターム物RFR金利の公表等に関し、公表主体が当該金利の算出・公表に向けた検討や体制準備等を円滑に開始できるよう、実務的なサポートを行う検討組織を立ち上げる必要があるとの説明があり、メンバー・オブザーバー間で認識が共有された。

この点、メンバーから、「ターム物RFR金利の参考値の公表前に、公表主体の選定を行うとの理解で良いか」(金融機関メンバー)との質問があり、事務局より、「そのように理解している」との回答があった。

- 副議長より、今後の対外情報発信について説明が行われ、市中協議開始後は、フォーラムの開催等を通じて、金利指標改革に関する検討委員会の取り組みや市中協議の認知度向上を図っていく方針であることなどが示された。
- 議長より、6月中を目途に市中協議を開始する旨などが伝えられ、承認された。

メンバーから、「市中協議開始後は、事業法人から相当数質問や意見が寄せられると思われるが、事務局が個別に対応することを想定しているか、あるいはまとめたうえで対応することを想定しているか」(事業法人メンバー)との質問があり、議長より、「ご質問やご意見を幅広い関係者に還元する観点等から、基本的には後者を想定している」との回答があった。

以上

「日本円金利指標に関する検討委員会」第7回会合 参加者

(メンバー)

議 長	三 菱 U F J 銀 行	松 浦 太 郎
副 議 長	野 村 證 券	野々村 茂
	み ず ほ 銀 行	渡 邊 謙
	三 井 住 友 銀 行	川 原 英 二
	横 浜 銀 行	荒 井 智 希
	名 古 屋 銀 行	鈴 木 健 司
	ド イ ツ 銀 行	森 田 茂 樹
	大 和 証 券	稲 田 雄 一 郎
	ゴールドマン・サックス証券	田 口 研 吾
	モルガン・スタンレーMUFJ 証券	江 塚 剛
	ゆ う ち ょ 銀 行	市 川 達 夫
	信 金 中 央 金 庫	田 中 賢 治
	第 一 生 命 保 険	重 本 和 之
	東京海上ホールディングス	新 川 真 也
	大和証券投資信託委託	小 宮 力
	丸 紅	小 倉 泰 彦
	三 井 不 動 産	富 樫 烈
	三 菱 U F J リ ー ス	富 永 修
	日 本 電 信 電 話	橋 本 誠 一

(オブザーバー)

全銀協 TIBOR 運営機関	世 良 裕 一
国際スワップ・デリバティブズ協会	森 田 智 子
金 融 法 委 員 会	戸 塚 貴 晴
	(弁護士)
東京金融取引所	瀬 尾 亮 介
日本証券クリアリング機構	金 子 貴 比 古

全 国 銀 行 協 会	小 山 寛 隆
日 本 証 券 業 協 会	田 口 順 一
金 融 庁	大 城 健 司
日 本 銀 行	大 竹 弘 樹
日 本 銀 行	塩 沢 裕 之

今回の会合には、以下の各サブグループ（SG）議長およびワーキンググループ（WG）取り纏め役が出席した。

貸出 SG 議長	み ず ほ 銀 行	柴 田 憲 幸
債券 SG 議長	野 村 証 券	橋 本 茂
ターム物金利構築 に関する SG 議長	三 菱 U F J 銀 行	天 城 穰
ターム物金利構築 に関する SG 議長	シ テ ィ グ ル ー プ 証 券	渡 辺 敦 也
通貨スワップ等 WG 取り纏め役	三 井 住 友 銀 行	石 川 聡

(敬称略)

以 上